

**製品名: GALR2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11283**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GALR2
別名	GALR2; GALNR2; Galanin receptor type 2; GAL2-R; GALR-2
遺伝子 ID	8811.0
SwissProt ID	O43603
免疫原	抗血清はヒト GALR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

**背景**

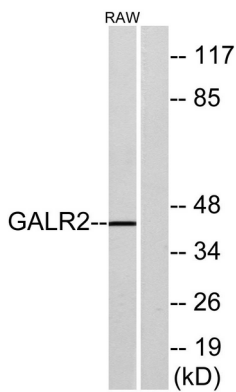
ガラニンとは、脳、消化管、および視床下部下垂体系に存在する重要な神経調節物質です。30 アミノ酸からなる C 末端非アミド化ペプチドで、成長ホルモン分泌を強力に刺激し、心臓迷走神経による心拍数低下を抑制し、洞性不整脈を消失させ、食後消化管運動を抑

制します。ガラニンの作用は、7回膜貫通型 G タンパク質共役受容体ファミリーに属する特定の膜受容体との相互作用を介して媒介されます。GALR2 は、ガラニンペプチドの N 末端残基と相互作用します。GALR2 の主なシグナル伝達機構は、ホスホリパーゼ C/プロテインキナーゼ C 経路 (Gq 経路) です。一方、GALR1 は Gi を介してアデニル酸シクラーゼを阻害することで細胞内シグナルを伝達します。しかし、GALR2 は Gq タンパク質と Gi タンパク質の両方に効率的に結合して機能することが実証されています。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性: 中枢神経系では視床下部と海馬の両方に豊富に発現しています。末梢組織では、心臓、腎臓、肝臓、小腸で最も強い発現が観察されました。、

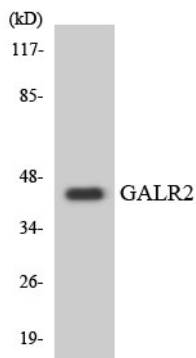
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



RAW264.7 細胞ライセートの GALR2 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GALR2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。